

なかしべつ

2001
2月
No.314

女性部新年恒例会が開催されました。



笑いの絶えない ゲームで大盛況!



平成十二年度女性部新年恒例会が、一月二十四日、農協事務所の大会議室で開かれ、テーブル狭しと並べられた食事や様々なアトラクションで親睦を深めました。

テーブル対抗伝言ゲーム、正解はどのチームかな？

今年も部員間の意見交換や交流の場を持つための「手作り新年会」を目標に役員、支部長らが中心となり準備を進めました。当日は天候にも恵まれ、部員や来賓ら七十余名が参加。午前十一時に横田純子部長の挨拶で開会しました。

「男尊女卑という言葉が聞かれなくなっただのはやっと最近のことですが、農村を活性化するには、女性のちからが必要です」と挨拶。これを受けて来賓の挨拶に立った高橋組合長は「女性パワーには敬服するばかり、当農協も女性・男性の差を付けずに仕事をしてもらっております」と祝辞を述べました。続いて挨拶に立った普及センターの加藤公夫次長は「昨年も招待頂き、大変楽しい時を過ごしました。今年も楽しみにして来ました」と挨拶、会食へ移りました。

テーブルにはお寿司やオードブル、



高橋組合長、藤田登美子ペアの二人羽織りに大爆笑



あいさつに立つ横田純子部長



二人羽織でケーキの早食い



なごやかな会食のひとコマ



ドライフラワーも売れ行き上々



藤工芸の講師・海老子洋子先生は作品を展示



福岡郁さんは、ひとつぼショップにたくさん洋服などを出品しま



大西ふみ子さん、名越静枝さんのお餅は開店早々完売に

部員手作りで持ち寄った漬け物、普及所、農協、あるから頂いた食べ物や飲み物のご芳志が盛りだくさんテーブルを囲み、和やかな雰囲気の中、会話も弾んでの会食となりました。

正午を過ぎて恒例の「ひとつぼショップ」が始まり、会場は熱気ムンムン。地区や個人、姉妹で出品したドライフラワー、手芸品、ペーコン、チーズ、和菓子に洋菓子、木工芸品、子供服など無いものは無いといった様相で大盛況でした。また、部員が持ち寄ったバザー品の収益は「九千三百三十円」となりました。

続くアトラクションでは「横田部長とのジャンケン大会」、「テーブル代表による二人羽織」、「テーブル對抗伝言ゲーム」、「全員参加のビンゴ」で盛り上がり、終始笑いの絶えない楽しいひとときを過ごしました。

集計

単位：千円

	収		入	
	12年計画	12年実績	13年計画	過不足
生乳	7,416,640	7,439,270	7,659,708	220,438
補給金	592,569	619,321	562,574	-56,747
小計	8,009,209	8,058,591	8,222,282	163,691
乳用牛	486,340	536,423	505,335	-31,088
肉用牛	195,203	300,478	289,562	-10,916
その他畜産物	20,576	11,835	5,000	-6,835
固体販売計	702,119	848,736	799,897	-48,839
家畜共済金	138,195	290,943	143,055	-147,888
畜産物計	8,849,523	9,198,270	9,165,234	-33,036
馬鈴薯	351,059	299,482	334,617	35,135
てん菜	113,920	120,197	101,784	-18,413
その他農産物	94,285	17,895	24,465	6,570
大根	-	58,005	71,192	13,187
農産収入計	559,264	495,579	532,058	36,479
農業雑収入	394,858	693,272	439,610	-253,662
農業収入計	9,803,645	10,387,121	10,136,902	-250,219
農外収入	29,409	51,768	35,786	-15,982
資金借入	0	29,592	31,900	2,308
資金受入	322,276	629,882	340,854	-289,028
その他				0
合計	10,155,330	11,098,363	10,545,442	-552,921

	平成12年実績 264戸	平成13年計画 261戸
乳量(t)	107,872.05	112,099.70
大根 収量(C/S)	53.95ha 267,317C/S	56.70ha 264,000C/S
てん菜 収量(t)	160.30ha 7,185.18	136.40ha 5,935.00
馬鈴薯種子	69.50ha	69.40ha
食用	31.30ha	51.40ha
澱原 収量(俵)	479.9ha 244,837.00	423.0ha 241,788.00
加工	13.90ha	34.90ha
乳用牛(頭)	3,133	2,929
肉用牛(頭)	6,893	6,789
乳牛総頭数	25,568	25,693
12カ月以下	4,600	4,689
13~24カ月	5,177	5,187
25カ月以上	15,791	15,817
総所有地	15,487.12	15,444.29
改良草地	8,352.22	8,116.74
永年草地	3,920.10	4,177.21
畑地	912.00	893.19
山林原野地	2,302.80	2,257.15

	12年計画	12年実績	13年計画	一戸平均実績	一戸平均計画
農業収入	9,803,645	10,387,121	10,136,902	39,345	38,839
農業経営費	6,416,604	6,768,571	6,634,794	25,639	25,421
農業所得	3,387,041	3,618,550	3,502,108	13,707	13,418
所得率	34.5%	34.8%	34.5%		

平成13年

営農計画総

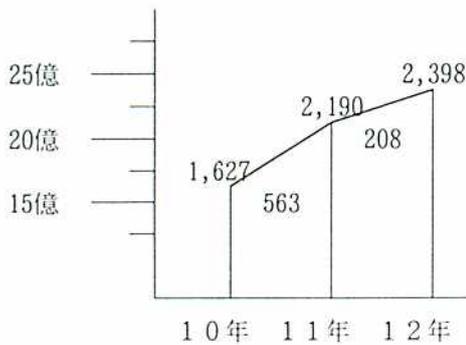
	支		出	
	12年計画	12年実績	13年計画	過不足
労賃	141,496	125,487	142,909	17,422
肥料	575,747	572,786	548,508	-24,278
生産資材	378,784	415,231	387,735	-27,496
水道光熱	332,355	352,950	347,849	-5,101
飼料	2,336,302	2,341,942	2,380,993	39,051
養畜費	403,793	448,140	430,757	-17,383
素畜費	24,111	23,617	37,474	13,857
農業共済	361,971	356,517	370,412	13,895
賃料料金	637,714	711,252	725,155	13,903
修理費	332,494	473,134	352,973	-120,161
諸税諸負担	505,425	518,874	524,271	5,397
支払利息	240,988	228,412	233,115	4,703
その他経営費	145,424	200,229	152,643	-47,586
農業支出計	6,416,604	6,768,571	6,634,794	-133,777
家計費	1,765,644	1,986,026	1,888,457	-97,569
経費+家計費	8,182,248	8,754,597	8,523,251	-231,346
資金返済	835,601	867,039	846,548	-20,491
貯金共済	976,118	1,026,807	999,248	-27,559
農業機械	75,479	161,224	76,841	-84,383
その他	98,382	233,349	108,470	-124,879
合計	10,167,828	11,043,016	10,554,358	-488,658

	12年計画	12年実績	13年計画
総収入合計	10,155,330	11,098,363	10,545,442
総支出合計	10,167,828	11,043,016	10,554,358
収支過不足	-12,498	55,347	-8,916

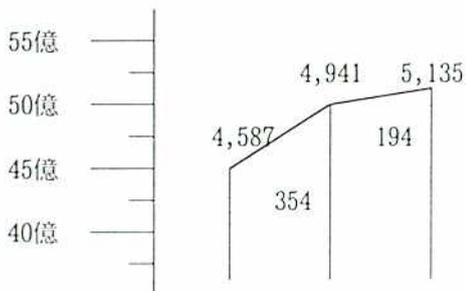
農協の 財務状況

平成12年度12月末における、
財務の状況についてお知らせいたします。

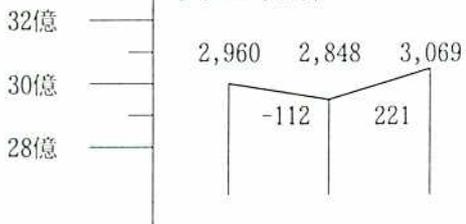
借入金



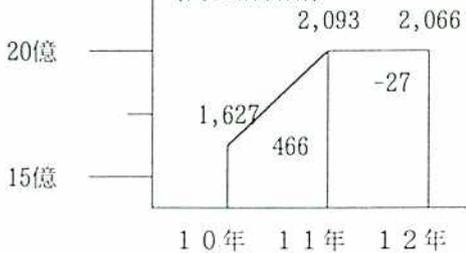
購買品供給高



(内生産資材)



(内生活店舗)



貸付金
 組勘含む貸付金では、前年同期より組勘三千百万円、スーパーL資金二億六千二百万円、長期貸付金二億五千三百万円が増加し、近代化資金三千百万円、転貸資金一千九百万円の減少となり、総額では四億六千二百万円の増加となっております。

クミカン

預かり残高については、前年同期より六千四百万円が増加し、貸越残高も三千五百万円の増加となっており、収入全体では、乳代（補給金含む）三億五千四百万円、個体販売二億一千万円、資金受入一億二千五百万円などが増加し、農産収入一億三千二百万円、農外収入・資金借入で

五十六百万円が減少していますが、収入合計では五億六千八百万円の増加となっております。
 支出については、肥料費二千百万円、支払利息九百万円等が減少し、飼料費九千五百万円、養畜費五千二百万円、賃料料金七千五百万円、修理費五千二百万円、家計費一億一千七百万円、貯金・共済二千四百万円などが増加し、支出合計で五億三千九百万円の増加となっております。

貯金

昨年同期に比べ、定期貯金三億六千三百万円、普通貯金五億三千八百万円、組勘預り残六千二百万円、別段貯金一億五千二百万円などが増加し、全体では、十一億七千七百万円の増加となりました。

販売事業

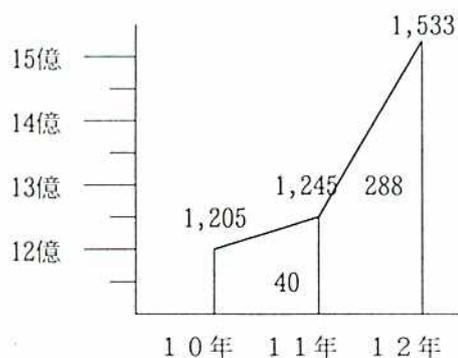
販売品取扱高については、乳代（補給金含む）二億七百万円、畜産物一億六千百万円が増加し、農産物で四千二百万円減少したものの、全体では前年同期を三億二千六百万円上回る結果となりました。

購買・店舗事業

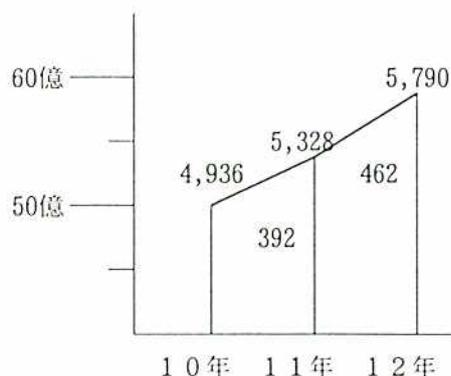
購買品取扱高については、飼料一億三百万円、燃料一億一千万円などが増加し、全体では、二億二千百万円の増加となりました。また、店舗品取扱高では、前年同期より二千七百万円の減少となりました。
 今後におきましても、なお一層の努力をして参りますので、皆様方のご協力をお願いいたします。

平成12年度12月末事業概況 (単位:百万円)

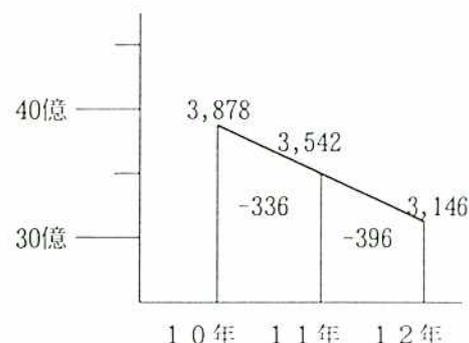
自己資本



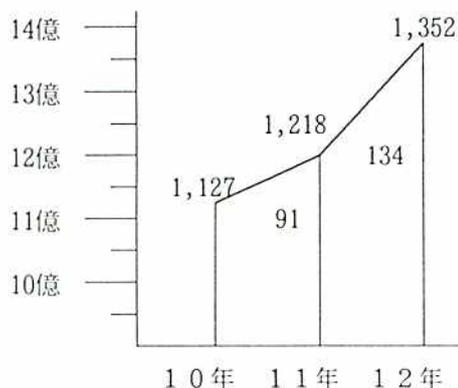
貸付金(組勘貸残含む)



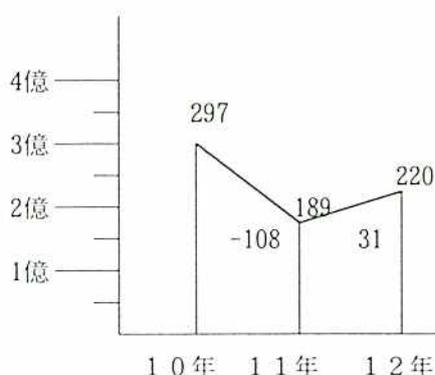
受託資金



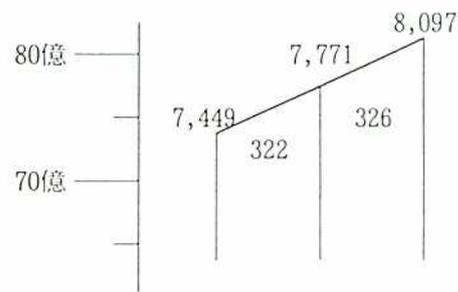
固定資産



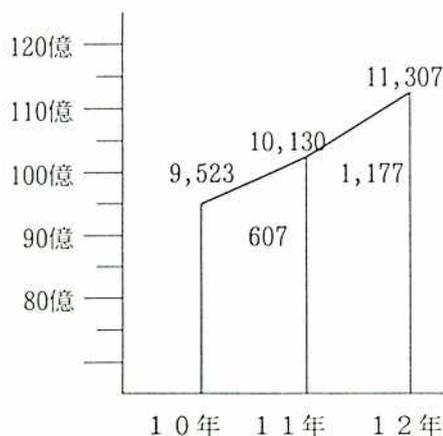
組勘貸越残



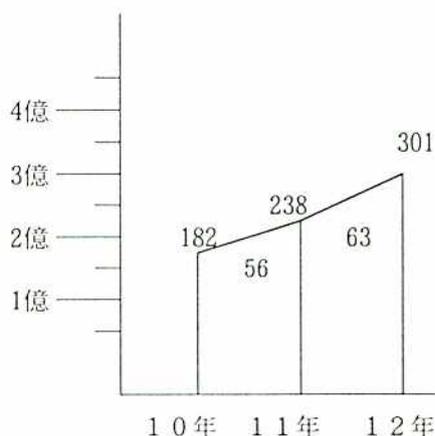
販売品取扱高(補給金含む)



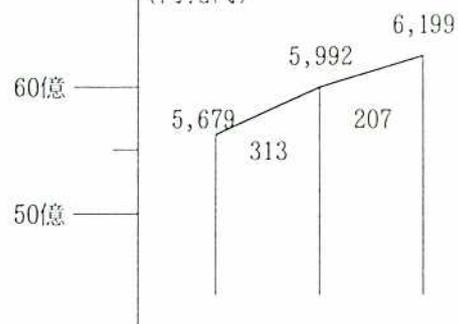
貯金(組勘預り残含む)



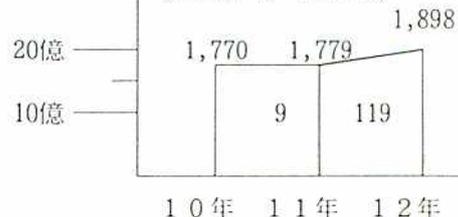
組勘預り残



(内乳代)



(内畜産物・農産物)



畜農技術

乾乳牛の飼養管理

北根室地区農業改良普及センター

乾乳は、泌乳組織の再生産と胎児の発育及び次の乳期に備える重要な時期です。しかし、直接牛乳生産する訳ではないので、つつい管理に手が届かない場合が見受けられます。

一、適正な乾乳日数の確保

望ましい乾乳日数は六十日程度です。概ね達成されていますが、五十日以下や百日以上もいることを考えると、牛群のばらつきがあることが理解できます(図一)。

二、乾乳期間の飼料給与

・乾乳前期

ルーメン機能回復を第一に考える時期です。乾草やサイレージは自由採食とし、穀類は少量(一〜二割程度)与えます。

・乾乳後期

乾乳期間の中でも特に重要なのが、分娩前二〜三週間のクローズアップ期です。乾乳期に必要な栄養分は概ね表一で、この時期採食量は低下しますが、胎児が大きくなる時期なので栄養要求量は増加します。もし、飼料中のエネルギーが低いままだと、乾乳後期から体脂肪が動員されるおそれがあります。ただし、泌乳牛用の配合飼料はカルシウム濃度が高く、分娩後の低カルシウム血症に伴う様々な疾病のおそれがあるため、カルシウム含量の低い単味飼料が乾乳期用の配合飼料を用いましょう。三〜

四割の穀類を与えるのが一般的です。また、乾物摂取量が低下するので良質な粗飼料の給与が大変重要になります。

三、乾乳期の飼養環境管理

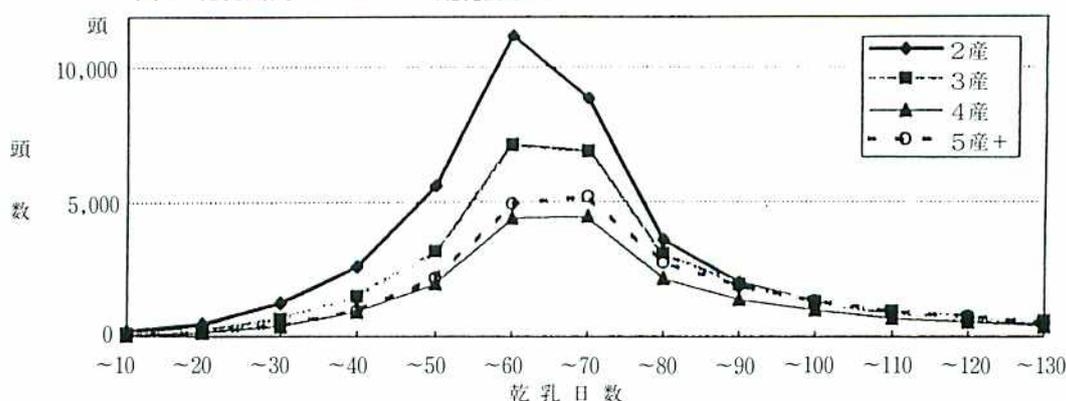
栄養管理と合わせて、良好な飼養環境が伴わなければ効果は激減します。以下のことに気をつけましょう。

- ・急激な飼養環境の変化を避ける
- ・乾乳、分娩専門の場所を設ける
- ・足まわり―体重増加による肢蹄負担増、ストレス軽減
- ・社会的安定―分娩間近は他の牛に負ける、育成や泌乳牛と一緒にしない
- ・居住環境の安楽性―敷料確保、牛床マット

表1 乾乳期に必要な栄養分

	乾乳前期	乾乳後期
乾物摂取量(%体重)	1.8~2.2	1.6~1.8
CP(%)	12	15
TDN(%)	60	65
Ca(%)	0.39	0.3以下
P(%)	0.24	0.3~0.5
Ca/P	1.6	0.7~1.0

図1 乾乳期間のばらつき (北乳検1997)





高収量、高収益を 目指すことを確認。

第24回 中標津町農協
てん菜生産振興会定期総会



平成十三年一月二十六日、J A 中標津大会議室にて、中標津町農協てん菜生産振興会第二十四回定期総会が開催されました。

松田会長の挨拶の後、米賓の中司副組合長、長野普及センター所長、田中ホクレン原料所所長から祝辞を頂き、議長に武佐の石橋喜美夫氏を選出し議事に入りました。

今年度のてん菜出荷体制は毎日出荷によって一日の出荷量を減らし、出荷回数を増やしていくようホクレンに要請しました。また、女性の集い

は、馬鈴しょ振興会と合同で行なっていく事を決めました。本年度から、四人の会員が減り、副会長の連田尚弘氏が脱会するため、副会長の補選を行ない、北武佐の志賀詔一氏を選任し、提出された議案全てが承認され議事を終了しました。

松田会長は閉会の挨拶で、三月中旬から始まる育苗準備を各々進めて欲しい。会活動を通して、高収量、高収益を目指していく事を確認して閉会しました。

会員の力を結集し、畑作経営の 安定と向上を目指そう。

第24回 馬鈴しょ振興対策協議会定期総会

平成十三年一月二十九日、中標津町馬鈴しょ振興対策協議会第二十四回定期総会が、農協大会議室で開催されました。

安達会長の挨拶の後、米賓の高橋組合長、中標津町武田経済部長、長野普及センター所長の祝辞を頂き、議長に豊岡の武田勇氏を選出し、議案審議に入りました。

活動内容の重点課題として、馬鈴しょ原種農場協議を柱にし、原種農場栽培研修会を開催していく事としました。また、会費の徴収については、会員一人当たりとありますが、一戸当りに変え、また、集団活動費についても同様に一戸当りとし、支出する事を決めました。

緑肥対策として、えん麦作付面積を早期に取りまとめめして、対策をとって欲しいと要望が出されました。役員改選については、五役が推選

による再任が決定し、他の役員は次の通り決定致しました。

新役員

- | | |
|-------|------------|
| 会長 | 安達 武 (再任) |
| 副会長 | 石橋喜美夫 (再任) |
| 役員 | 亀代 務 (再任) |
| 監事 | 小林 茂 (再任) |
| 役員 | 西崎 敬造 (再任) |
| 役員 | 真嶋 正義 (再任) |
| 役員 | 橋場 勇 (新任) |
| 役員 | 坂口 弘 (再任) |
| 役員 | 乾 美佐子 (新任) |
| 役員 | 大内 勝利 (再任) |
| 役員 | 篠永 直文 (新任) |
| 防疫補助員 | 真嶋 正義 |
| 亀代 務 | |
| 真野 幸一 | 以上三人 |
| 税対委員 | |
| 久本 時雄 | |

でん原馬鈴しょ出荷班長

第一班長 田中 世一
第二班長 三宅 和雄
第三班長 三輪 哲郎
第四班長 坂口 弘
第五班長 西崎 敬造
第六班長 橋場 勇

最後に、安達会長が閉会挨拶で原種農場の運営問題は重点課題であり、会員一致しながら解決していく一年として、会員相互の力を結集し、畑作経営の安定と向上を目指していく事を会の共通認識として訴え閉会しました。



思いを秘めた対談に 胸を熱くする。

一月二十五日〜二十七日まで根室地区青年部幹部研修が行なわれました。当青年部からは僕と竹村聡さんの二人、計十三人の参加者でした。

JA根室地区青年部幹部研修

青年部副部長 西垣

努



初日は横浜市にある高梨乳業さんにお邪魔をして、二時間ほどでしたが、意見交換ができました。

「雪印の問題後、乳製品の消費がイマイチと言う中で、今後メーカーと生産者が力を合わせ美味しく、安全な製品作りをして行かなければならない」、当たり前の事の様ですが改めて参加者皆が実感していたようでした。

二日目は自由党本部を訪問し鈴木宗男氏、北村直人氏、二人の代議士と直接話が出来ましたが、緊張したのかうまく話が出来なかった人もいました。

とても忙しい中、時間を都合していただき、対談の後は記念撮影と参加者全員とても大喜びでした。

午後からは、農林水産省へお邪魔をして、各担当者を囲んでの対談です。あらかじめ用意していた質問とそれに対する回答という形で始まりましたが、皆がそれぞれに思いを秘めて対談に挑んだ事もあり、四時間という時間ではとても足りるものではありませんでした。

今春から始まる市場価格の導入、糞尿などの環境問題や、補助金や資金などの緩和と無駄のない幅広い活用を」と皆、胸を熱くし、中身の濃い対談となりました。

帰町日は羽田空港にて中標津行きが便が欠航、前日は山手線人身事故などいろいろな事がありました。二十八日無事に帰宅しました。



一投ごとに盛り上がったボウリング大会。

開陽支部親睦ボーリング大会 中本 信幸

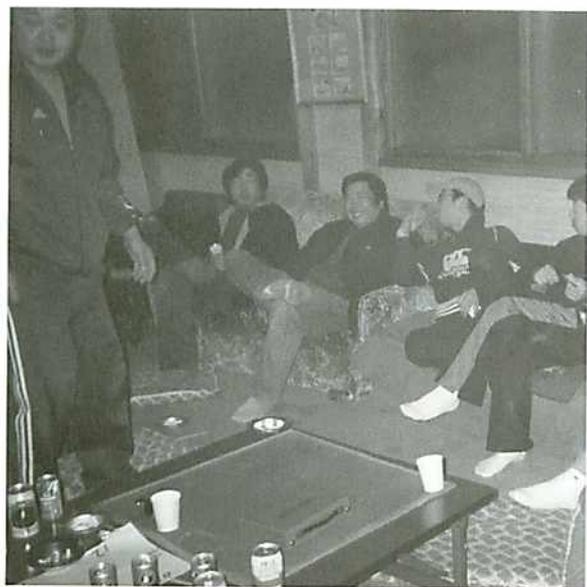


一月十八日に青年部と同志会のそれぞれの支部員、そしてJA職員数人を交え、ボウリング大会を行いました。
当日は、十六人の参加によって始まり、一投ごとに歓声やため息が出るなど、盛り上がっていました。チーム戦では青年部が優勝、個人戦では、赤堀君が優勝しました。
「冬の体力づくりに!!」と銘打ったんですが、後日、筋肉痛の人が数人いたのを聞かされました。普段、肉体労働してるのに、使っていない筋肉がまだあるんだなあと、改めて関心させられました。



麻雀好きが集い、熱戦をくりひろげました。

侯落マーじゃん大会 上ヶ島利春



去る一月二十日、午後八時より侯落青年部主催の麻雀大会が、侯落母と子の家において開催されました。
三度の飯より麻雀が好きと言う雀鬼の方々が二十一人出席し、熱戦が繰り広げられました。
優勝は地元の加藤進さんで、副賞に豪華三万円のスカイパーフェクトVセットが贈られました。なお、二位に小山茂さん、三位には岩井淳一さんがそれぞれ入賞されております。
来年もたくさんの出席をお待ちしております。



第13回開陽台 自作ソリ大会

期日 2月18日(日) 毎年2月第3日曜日開催

会場 開陽台牧場内特設コース

受付及び車検 午前9時30分～10時30分

開会式 午前10時30分

競技開始 午前11時

参加資格 学生、社会人、家族、友人などのチームで編成し、職種などは問いません。

(高校生以下の学生については保護者の同意書が必要です)

競技内容

【タイムアタック部門】

◎競技規程があります

◎スタートとゴール間のタイムを競います

【デザイン・アイディア部門】

(A・高校生以上一般、B・小中学生以下)

◎参加した全ソリを対象に審査します

◎ソリ及び選手の服装のデザイン、アイディア、ユニークさ及びアピールを審査員の得点で競います

問い合わせ先 開陽館(小木まで)

☎4-2360



暮らしの

知恵袋

落花生(らっかせい)

北根室地区農業改良普及センター

今回は豆類の中で、落花生について紹介します。

北海道では、節分によく使われます。落花生には、私たちが生活するために、必要な成分を豊富に含んでいます。適度な摂取で、健康を維持しましょう。

▼分類

落花生は、マメ科、ラッカセイ属に分類されます。呼び名は、落花生、南京豆、地豆などです。

▼性状

一年生草本。主茎の基部から多く出る分枝の伸び方により、立性と匍匐性(ほくせい)に分かれます。大豆などと異なり、出芽と同時に四つの小葉からなる本葉が開き始めます。

花は、蝶形で、赤黄色、黄色、淡黄色などあります。開花して数日後に、花柄をつけた子房柄が伸びて地面に向かい、地中にもぐり、そこで莢が肥大生長します。莢の中には普通二個の種子が出来ます。種子の長さは品種により十〜二十七で、外側をピンク、赤、白、黄などの種皮(甘皮)に包まれています。

▼原産地から世界へ

落花生は、いつ頃から栽培されるようになったかは、はっきり分かっていません。原産地は、ブラジルとボリビアとアルゼンチンの国境を接する地帯ではないかと考えられています。そして、落花生は土の中で結実することから、アマゾン川、ラブラタ川及びその数多くの支流が氾濫するたびに地中の落花生の種子が流され、川沿いに漂着して広まってい

ったと考えられています。

ヨーロッパへは、南米の征服者であるスペイン人によってアフリカへともたらされました。北アメリカへ入ってきたのは比較的遅く、一九世紀になってから栽培が盛んになりました。

▼落花生の利用

わが国へは、江戸時代に中国から渡来し、南京豆の名が付きましたが普及しませんでした。なお、沖縄では、かなり古くから栽培されていたようです。

国内で本格的な栽培が始まったのは、明治七年に政府がアメリカから種子を導入して奨励してからです。現在も千葉県を中心に茨城県、神奈川県などで生産されています。落花生は国産のほか、中国、南アフリカ、米国などから輸入されています。

落花生は脂質を多く含むことから、国際的には大豆、ひまわりに次ぐ重要な油料作物となっています。ただし、国産の落花生は、ほとんどが食品用です。最もポピュラーなのは煎った落花生で、莢つき、莢なし、味つき皮なし、バターピーナッツなどがあります。このほか、せんべい、豆腐、味噌、甘納豆など、多彩な用途を持っています。

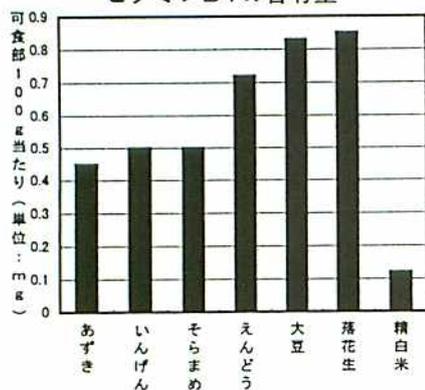
▼健康を作る栄養素

落花生に一番多く含まれている要素は、ビタミンB1です。

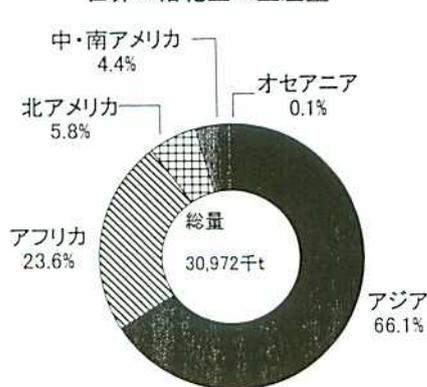
これは、糖質が吸収されてエネルギーに変わる時の補酵素の役割をします。糖質を摂取してもビタミンB1が不足すると糖質がエネルギーへと代謝されず、乳酸などの疲労物質

の形でたまって疲れ易くなったり、全身の倦怠感や食欲不振、神経炎による脚などの感覚障害といった、脚気の初期症状を引き起こします。とりわけ食品の中では、あずきやいんげんまめなどの豆や大豆、落花生から、かなりの量のビタミンB1を摂取できます。毎日の食事に豆類を取り入れることが大切です。

ビタミンB1の含有量



世界の落花生の生産量



第九回理事会の経過

開催日時 平成十三年一月十一日
開催場所 中標津町農協中会議室

〈決議事項〉

- 一、各資金の借入申込について
- 二、北海道農業信用基金協会に対する出資増口について
- 〈協議事項〉
- 一、役員報酬審議会委員の委嘱について
- 二、実労働時間調査中間報告について
- 三、各種補助事業の実績報告について
- 四、各利用組合の実績報告について
- 五、中標津町農協集落協定推進委員会取組事項の決定内容について
- 六、平成十二年度でん粉馬鈴しよの出荷実績について
- 七、平成十二年度でん原馬鈴しよ堆積場の設置実績について
- 八、畜舎環境衛生改善調査結果について
- 九、抗菌性物質残留事故防止対策実調査の結果について
- 十、平成十二年上期生乳生産安定化

第十回理事会の経過

開催日時 平成十三年一月三十一日
開催場所 中標津町農協中会議室

〈決議事項〉

- 一、北海道農業信用基金協会に対する出資増口について
- 二、役員報酬審議会委員の委嘱について
- 三、畑作支援助資金の新設について
- 四、長期貸付金（負債整理資金）の利率変更について
- 五、当座貸越（クミカン口）の利率変更について
- 六、各資金の借入申込について
- 七、平成十三年度営農計画供給認定について

- 八、平成十三年度重点指導組合員・指導組合員（案）について
- 九、平成十三年度畜産環境保全施設整備事業（補助付きリース事業）の選考について
- 十、経営企画課車両のリース契約について
- 十一、汚染乳賠償責任保険の加入に係る保険料の徴収について
- 十二、中山間地域等直接支払制度の実施に係るユニック車の料金設定について

〈協議事項〉

- 一、乳製品工場事業の今後の進め方について
- 二、馬鈴しよ原種農場問題に係る協議経過と今後の取扱について
- 三、出資限度額の改定について
- 〈報告事項〉
- 一、平成十二年度十二月末クミカン状況について
- 二、販売事業の進捗状況について
- 三、堆肥・スラリ事業の実績について
- 四、生乳生産状況について
- 五、中標津町農業環境シンボジュウムの開催について

1月の組合日誌

10日	生食加工馬鈴しよ部会全体会議
11日	第9回理事会
12日	営農協議 原種農場検査会 女性部支部長会議
13日	営農協議～16日
15日	てん菜振興会監査 第7回同志会役員会 第10回青年部役員会
16日	てん菜生産振興会役員会 グリーンクラブ大根部会 第4回青年部消費拡大委員会
17日	農民連盟役員会
18日	馬鈴しよ振興会全体会議 第1回青年部役員選考委員会
19日	農薬打合せ 経営診断先進事例調査 税金馬鈴しよ意見聴取会 第4回集落協定推進委員会 第9回青年部調査広報委員会
20日	第5回熱年会役員会
22日	てん菜振興会役員会 第7回営農委員会
23日	馬鈴しよ振興会役員会
24日	女性部藤細工 第7回生産委員会 営農協議 女性部新年会 同志会監査
25日	資金融資協議 てん菜定期総会
26日	資金融資協議
27日	後継者交流会打合せ
29日	馬鈴しよ振興会総会 第8回同志会役員会
30日	和牛振興会役員会 第8回営農委員会 女性部藤細工 中標津ETA役員会
31日	第10回理事会 第2回青年部役員選考委員会

3カ月予報

二月から四月までの概要

三カ月平均気温は、平年並の可能性が大きく、その確率は五〇％です。

可能性の大きな天候見通し

二月

冬型の気圧配置の日が多いですが、寒気の影響は一時的でしょう。平年と同様に、日本海側では曇りや雪の日が多く、太平洋側やオホーツク海側では晴れる日が多い見込みです。

三月

低気圧が周期的に通過し、通過後は冬型の気圧配置となりますが一時的でしょう。平年と同様に、天気は周期的に変わりませんが、低気圧の影響で降水量は多いでしょう。降雪量は平年並の見込みです。

四月

低気圧と高気圧が周期的に通り、天気は周期的に変わります。気温は平年並ですが、変動が大きいです。

三カ月間降水量、日本海側の降雪量は共に平年並でしょう。

大地の四季



冬の農場

昨夜来、荒れ狂う大地にやっと静けさを整えつつある朝の時間帯。

除雪が終えた中に、子供を学校へ届け、帰り道一瞬、採雲が太陽を遮る。そこはまるで異次元の世界の様。

藍色の空間が広がり、20世紀を誇るシンボルタワーが目に飛び込んできた。

写真・文提供 小出 清信